

平成28年度第1回 田辺市障害者施策推進協議会 会議録

1. 開催日時 平成29年3月28日 火曜日 午後7時30分～午後9時

2. 開催場所 田辺市民総合センター 1階 機能訓練室

3. 出席委員 委員21名中出席委員14名 代理1名 委任状提出3名
欠席1名

4. 事務局 障害福祉室 谷口室長、山崎企画員

5. 会議事項

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

(3) 議 題

①平成27年度の障害者計画の実施状況について（資料1）

②平成27年度の障害福祉計画の実施状況について（資料2）

③その他

6. 質疑応答

●A委員

○発言内容

資料1の14ページ、コミュニケーション支援事業について、手話奉仕員養成事業は法律改正に伴い市町村の必須事業になったが、田辺市ではなぜ任意事業に位置づけているのか。

○事務局回答

国の要綱では必須事業となっています。数年前に手話奉仕員養成事業は実施していると聞いています。手話通訳の方も年齢を重ねるので、数年に一度は養成事業を実施する必要性はあると認識しています。

○実施したとは聞いたことがありません。若い人を育てて欲しい。

●会長

○発言内容

合併前の消防士が手話を習うとの答弁を議会でもらったが、合併後も実施しているのか。

○事務局回答

消防に確認します。

●T委員

○発言内容

資料1について、決算額が記入されている欄、ゼロの欄、空白となっているのがありますがどうしてか。

○事務局回答

予算を計上して実施している場合や、職員の人件費だけなのでゼロの場合、他の事業で予算計上している事等が考えられると思います。担当課からもらった数字を計上しています。

○発言内容

資料1の3ページ、知的障害児者支援事業とあるが、知的だけが対象か。

○事務局回答

精神障害者、身体障害者も同じような事業があるのか、確認してみます。

●Y委員

○発言内容

開催時期が遅いのではないか。ショートの手が少なく、利用が難しくなっている。ショートの実態を把握してほしい。また、希望者が多く、デイは利用制限をかけている。デイを利用できない方が地域で課題を抱え、問題を起こすこともある。障害計画を改正しても良いのでは。発達障害のドンマイクラブは、訓練事業として進学や就職の効果を挙げている。市の事業として考えてもらっても良いのでは。

○会長

レクレーションだけでなく、効果を挙げている訓練の実際を見てももらえれば、今後の参考になる。

●会長

○発言内容

状況も変化してきたので、バリアフリー関係も再点検する必要があるのではないかと。

●T委員

○発言内容

高機能自閉症の方を対象として、社会適応訓練を実施している。困り事を、利用者の視点と、周りの方がどのように気をつけて支援するかが大切。

●S委員

○発言内容

就労・生活支援の実績の数字を出して掲載してもらえればありがたい。

●W委員

○発言内容

資料1、19ページの福祉避難所の予算内容はどのようになっているのか。

○事務局回答

委託契約書の金額に基づき、例えば1日当たり4900円等で予算を計上しています。高齢者の施設での受け入れ実績がある。障害者の施設での受け入れ実績はありません。

●N委員

○発言内容

大地震が起こった場合、障害者の方は大丈夫か

○事務局回答

要支援者名簿には、協力員も登録しています。協力員の支援を受けながらの対応が重要です。

●A委員

○発言内容

医療との連携はどのようになるのだろうかと思って聞いていた。

●会長

○発言内容

年金の認定が厳しくなっているのではないかと。

○T委員 発言内容

厳しくなっているように思う。

その他

●会長

○発言内容

障害者が車で追いかけられた事例を報告。ケガは無かったが、障害者理解の啓発が必要。